

株主・投資家の皆様へ

第84期 中間報告書

2016年4月1日▶
2016年9月30日


MORITA GROUP

人と地球のいのちを守る

証券コード 6455



Top Message ●ご挨拶

当社は、明治40年(1907年)に社名の由来でもあります森田正作氏が、わが国で初めてのガソリンエンジンによる消防ポンプを完成させ、創業した会社であります。

以来、実に100年以上にわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。

これもひとえに関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

また、当社は、生命・財産を火災から守るというテーマに加え、緑豊かな自然環境を生活汚染から守るという最大

のテーマに挑戦すべく、リサイクルプラント、ごみ処理機器、環境保全車両等の環境分野への進出も果たしてまいりました。

今後は、さらなるグローバル展開を視野に入れ、安全・安心を提供できる企業を目指してまいります。

「人と地球のいのちを守る」という大きなスローガンを掲げて日夜邁進しておりますので、これからもたゆまぬ努力と新技術で皆様の生活を守る「モリタホールディングス」にご期待ください。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博

代表取締役社長 尾形 和美

第84期第2四半期の概況



当第2四半期におけるわが国経済は、政府による各種経済政策により、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調となったものの、新興国を中心とした経済成長の減速に加え、英国の欧州連合(EU)離脱等に伴う不安定な国際情勢の影響から、円高が進行し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「Morita Advance Plan 1000」の初年度として、企業価値の向上に向けた諸施策に取り組んでおります。

このなかで、主に消防車両事業の国内の受注及び販売が順調に推移したことと新たに連結子会社となったBRONTO SKYLIFT OY ABの売上が寄与したため、売上高は、前年同期比7,671百万円増加し、29,571百万円(35.0%増)となり、営業利益は、前年同期比364百万円増加し、1,850百万円(24.5%増)、経常利益は、前年同期比218百万円増加し、2,052百万円(11.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比381百万円増加し、1,304百万円(41.4%増)となりました。

圧縮空気泡消火装置 (CAFS装置) の需要拡大

消防車両事業

モリタが開発いたしました「Miracle CAFS Car」は、従来の消火の概念を大きく変える画期的な消防ポンプ自動車で、すでに日本全国の消防本部、消防学校、消防団、企業などに1,300台以上が配備されており(2016年4月1日現在)、年々需要が高まっています。

CAFS装置とは、「Compressed Air Foam System」の略で、日本語に訳すと「圧縮空気泡消火装置」となります。これは水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることにより、少量の水で高い消火性能を発揮します。本年6月には、日本消防検定協会のCAFS装置の規格がほぼそのまま、国際的な工業規格であるISO規格として正式に発行されました。これを受け、今後は海外向け「Miracle CAFS Car」の提案にも努めてまいります。



業界初 業務用消火器10型総質量3kg台を実現

防災事業

モリタ宮田工業は、2011年9月の発売以降、大好評いただいている、アルミ製蓄圧式粉末消火器「ALTESIMO アルテシモ」の総質量を業界初の3kg台に軽量化した「ALTESIMOⅡ MEA10A」を開発し、販売を開始いたしました。

このたび開発した「アルテシモⅡ」は、アルミ素材の採用による継ぎ目のない一体成型容器で、圧漏れリスクを大幅に低減させるという特長はそのままに、今後の高齢化社会を見据えた更なる軽量化を実現することで、お客様のニーズを形にした消火器です。消火器は初期消火に欠かせないもので、ご家庭や職場の見張り番として重要な役割を担っています。従来からの特長である、美しさ、安全性に加え、これまで以上に軽くて持ちやすい消火器を提供することが、業界のトップメーカーとしての使命であると考え、開発いたしました。

また、人間工学的手法に基づき、ラベルが見やすく、読みやすいデザインを採用していることや、再生消火薬剤を40%以上使用し、回収及びリサイクルシステムを持つ消火器としてエコマーク認定を取得している等の特長も兼ね備えています。



アルミ製蓄圧式粉末消火器
「ALTESIMOⅡ MEA10A」

プレス式塵芥収集車 Press Master (プレスマスター) をフルモデルチェンジ

環境車両事業

モリタエコノスは、このたびフルモデルチェンジした「プレス式塵芥収集車 Press Master (プレスマスター)」の販売を開始いたしました。

Press Master (プレスマスター) は、ごみ収集の効率化と安全性の改善・負担軽減を目指したプレス式塵芥収集車です。独自のハイマウントリアパネルにテールランプや表示灯を集約し、後方からの視認性を高め安全性を向上させたことに加え、作業者の負担軽減を図るため、投入口の高さを同クラスで最も低く設計し、作業性を向上させました。また、デザイン性を大幅に向上させたことで、実用性と美しく力強いデザインを兼ね備えた製品となっています。

今後もお客様の声を大切にし、より安全で実用性の高い製品を追求してまいります。

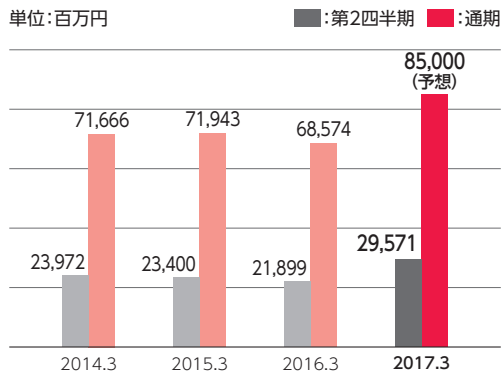


【Press Master (プレスマスター) の特長】

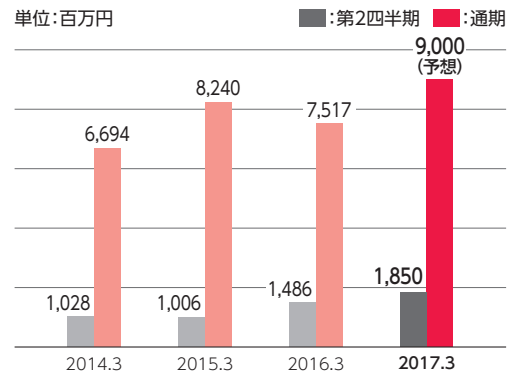
- 積載容積5%UP(従来比)
- ハイマウントリアパネル
(より広範囲への注意喚起機能と軽快な印象を与えるスタイリング)
- デザイン性の高いボディ(新たにリップ形状を採用し、力強さと頑強さを実現)
- 投入口の高さ(同クラスで最も低く設計、作業性を向上)

財務ハイライト(連結)

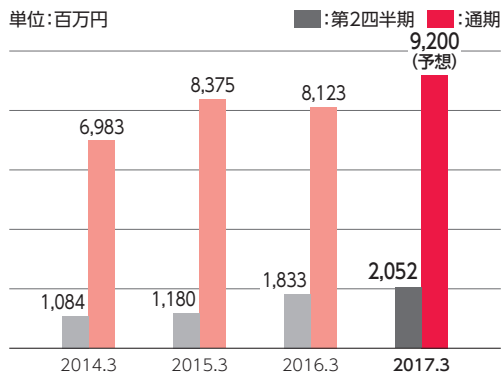
売上高



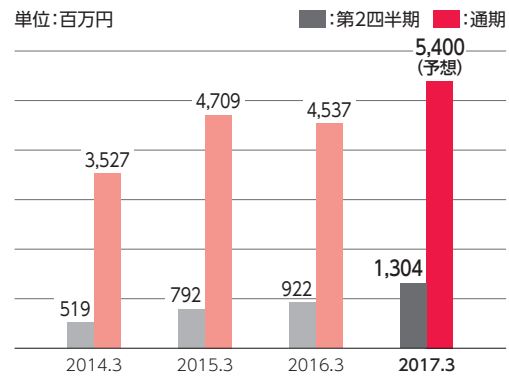
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント別概況

防災事業

売上高 前年同期比 ↓
7,521百万円 3.6%減

セグメント利益 前年同期比 ↓
297百万円 41.2%減



消火器及びパッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の販売が第4四半期に偏重する見通し。

消防車両事業

売上高 前年同期比 ↑
15,275百万円 97.9%増

セグメント利益 前年同期比 ↑
1,009百万円 160.4%増



国内の受注及び販売が順調に推移、また新連結子会社のBRONTO SKYLIFT OY ABの売上も寄与。

環境車両事業

売上高 前年同期比 ↑
4,939百万円 5.2%増

セグメント利益 前年同期比 ↑
569百万円 5.2%増

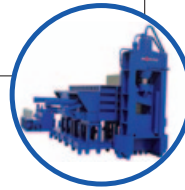


製品受注及び販売が堅調に推移。

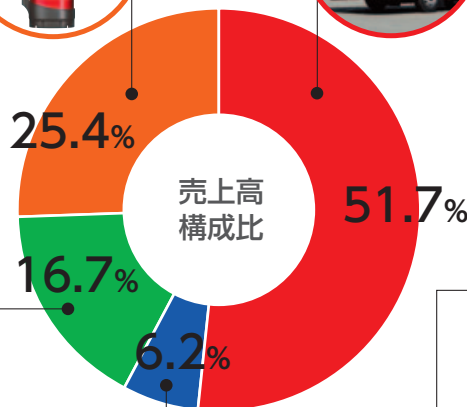
産業機械事業

売上高 前年同期比 ↑
1,834百万円 9.3%増

セグメント損失 前年同期は52百万円の利益 ↓
9百万円



製品受注が減少するも、部品・メンテナンスの販売に注力。



会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役社長	尾形和美
取締役	前嶋幸広
取締役	松尾徹
取締役	磯田光男
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	佐々木純
常勤監査役	高野祐介
監査役	太田将
執行役員	浦野ヒロ子
執行役員	坂本直久
執行役員	金岡真一
執行役員	村井信也

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告とし、当社のホームページに掲載する。 http://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区泉和二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【大阪本社】

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
☎06-6208-1907

【東京本社】

〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号
☎03-5777-5777
<http://www.morita119.com>

人と地球のいのちを守る

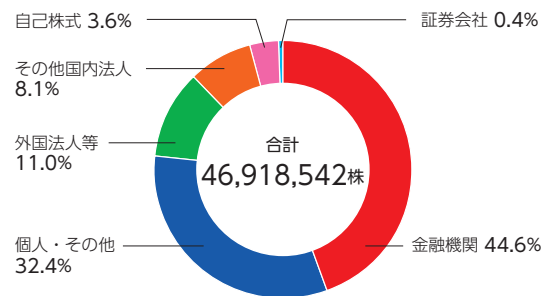
MORITA
株式会社モリタホールディングス

主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ごみ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開発・製造・販売

所有者別株式数分布状況

2016年9月30日現在



大株主(上位10名)

2016年9月30日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,496
モリタ取引先持株会	2,494
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCROO	1,095
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,015

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式 1,678千株を保有しております。

3. 第一生命保険株式会社は、平成28年10月1日に持株会社体制に移行し、第一生命ホールディングス株式会社に商号を変更しております。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。